

主な年中行事

三徳山行事



炎の祭典・採燈護摩法要(上)と
火渡り神事(火生三昧)(下)

修験者や、山伏が多数集まり、三徳山伝統の採燈護摩法要や火渡り神事などが行なわれ、山内は全国から多くの参詣者であふれる、三佛寺の代表的な行事である。火渡り神事(火生三昧)は一般の方も参加できる。

- 正月元旦 修正会護摩供祈禱
- 節分・星祭(豆まき) 2月節分の日
- 慶雲入峰(山開き) 4月1日
- 春会式(三徳縁) 4月18日
(平日の場合は次の日曜日)
- 灌仏会(花まつり) 旧4月8日
- 伝教大師報恩会(山家会) 6月4日
- 夏会式(大般若会) 7月18日
- 万燈会 8月16日
- 印章供養 10月
- 秋会式(炎の祭典・採燈護摩法要)
10月最終日曜日
- 除夜の鐘 12月31日
- 月例護摩奉修会(月替おかけ)
毎月18日 一年中
- 諸願祈願



夏会式(大般若会)

三徳山名物料理



各宿坊と茶店では、NHKテレビ「きょうの料理」で紹介された三徳山豆腐と、山菜料理や精進料理をご賞味いただけます。お寺での精進料理、宿坊は要予約。(写真は輪光院の精進料理)



参道

	名称	☎(0858)
宿坊	三佛寺	43-2666
	輪光院	43-2667
	正善院	43-2668
	皆成院	43-2882
茶店	みとく茶屋	43-0743
	みとく苑	43-2662
	谷川天狗堂	43-2663

三徳山入峰修行(投入堂参拝登山)心得

三徳山は修行の場であり、木の根や岩やクサリをよじ登る等、場所によっては険しい箇所がございます。

- 参拝受付時間は8時から15時まで。入山手続き下山手続きを必ず行ってください。
- 参拝受付時に輪袈裟(わけざ)をお貸しします。必ず輪袈裟をしてご参拝ください。
- 雨や雪など荒天時、またその後により当山が危険と判断した場合は入山禁止になります。(例年ですと冬の間、12月~3月くらいまでは積雪の為入山禁止になっております)
- 境内山内はすべて国指定史跡及び名勝の地であり、動植物の採取厳禁です。
- 喫煙・線香・ローソクを含め、一切火気類の使用厳禁です。
- 山内での食事はご遠慮ください。ゴミは各自持ち帰っていただくようお願いいたします。また御札やお供え物は置かないようにしてください。
- 小学生未満、酒気帯び、体調の悪い方、医者から運動を止められている方等の登山はご遠慮ください。
- ベットの持ち込み、大声や奇声を発する等、他の参拝者の方々に迷惑がかかるようなことはしないようにしてください。
- 立ち入り禁止となっている場所や危険な場所、また投入堂参拝への修行道以外の場所へは入らない。
- 修行道・参拝道での金品の紛失・怪我等責任は負えません。十分な自己管理をお願いします。
- 投入堂参拝への修行道登山をされる際には、必ず二人以上で登山してください。
- 投入堂参拝は修行に適した滑りにくいクツを使用してください。また荷物はお持ちにならないが、リュックサックなど両手が使えて運動のしやすい格好でおこください。

拝観志納金

区分(おひとり)	投入堂参拝	本堂まで
大人	800円	400円
小人(小、中学生)	400円	200円
団体大人(20名以上)	750円	350円
団体小人(20名以上)	350円	150円

宝物殿の拝観料も含んでおります。この拝観志納金は山内各堂の維持管理に使わせていただきます。

- 投入堂参拝は小学生以上
- 三徳山入峰修行中、緊急時・事故等発生した場合、下記までご連絡下さい。

● 祈願・その他お問い合わせは

みとくさんほんぼうさんぶつじ 三徳山本坊三佛寺

〒682-0132 鳥取県東伯郡三朝町三徳
TEL:0858-43-2666 FAX:0858-43-2661
ホームページ <http://www.mitokusan.jp>

みとくさんほんぼうさんぶつじ 三朝温泉観光協会

〒682-0123 鳥取県東伯郡三朝町三朝
TEL:0858-43-0431
ホームページ <http://spa-nisasa.jp/>

1300年の修行と祈り 神と仏の宿る山 三徳山三佛寺



Since 706
MITOKUSAN SANBUTSUJI

三徳山 三佛寺



中国観音霊場 第三十一番札所
伯耆観音霊場 第二十九番札所
百八観音霊場 第三十六番札所

国指定名勝・史蹟
国立公園 三徳山
日本遺産認定第1号

天徳院宝物殿

指定文化財を含め
多くの寺宝を収蔵



拝観時間 午前9時～午後4時



国重要文化財
金剛蔵王大権現(投入堂正本尊)

役行者が末代難伏の衆生救済せんがために修行中に示現したと伝わる。三徳山修験道場の中心的建物投入堂の本尊として安置された。降魔をあらわす憤怒形相にて足を上下に踏んまえ、天地漏現の相を示している。仁安三年(1168)連慶、快慶の師、康慶の作とされる。密教道場にふさわしい仏像で、優美優秀な蔵王権現像として有名である。

- 宝物殿収蔵物
- 投入堂棟札・古材(国宝)
 - 木造蔵王権現立像7体(重文)
 - 木造十一面観音立像(重文)
 - 鸕鷀文銅鏡(重文)
 - 源頼朝奉納刀
 - 釈迦誕生仏 ほか

三徳山案内図



三佛寺奥院 投入堂(国宝) 附愛染堂

三徳山三佛寺の奥の院であり、日本でも代表的な懸造り建築。本尊は金剛蔵王大権現。堂全面は断崖で近づく道すらない垂直な崖に、浮かぶとも建つとも表現し難い優美な姿をかもしている。近年の科学的調査により、平安後期の作であるとされ、現存する神社建築では日本最古級ともいわれる。慶雲三年(706)、役行者が法力をもって岩窟に投げ入れたといわれ、「投入堂」と人々と呼ぶようになったと伝わる。



観音堂(県文)



納経堂(国重文)



文殊堂(国重文)



地蔵堂(国重文)



鐘楼堂(県文)



三佛寺 本堂(県文)

慈覚大師円仁により嘉祥二年(849)に釈迦・阿弥陀・大日の三尊仏を本尊として安置し「浄土院美徳山三佛寺」と号されたと伝う。



参詣者受付案内所 (お札受与所)



皆成院



正善院



輪光院